

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 192 (通算 506 回)

2011 年 10 月 6 日 (木)

FD 担当者のための ID 実践シナリオ——

※開催延期

インストラクショナルデザイン～授業改善の進化策

高等教育活性化シリーズ 193 (通算 507 回)

2011 年 10 月 11 日 (火)

入学から卒業・出口後までの学生トータル支援——

※開催※

エンrollment・マネジメントのコンセプトと展開

FD 担当者のための ID 実践シナリオ——

インストラクショナルデザイン～授業改善の進化策

～学習心理学の応用／授業の点検策／ICT の活用～

- ※ 効果的・効率的・魅力的な学習環境の構築／成長プロセス／eラーニングの質保証レイヤーモデル
- ※ 3つのゴール(効果・効率・魅力)／授業改善の実現／ARCSモデル(注意・関連性・自信・満足感)
- ※ 教育プログラムの組織実践／学習活動のトラッキングと評価／各専門家の共働による質保証
- ※ ブレンディッドラーニングの定義・フレームワーク・学習モデル・文化的ゴールと実践事例

● 講師陣 ●

鈴木 克明 氏 / 熊本大学 大学院社会文化科学研究科 システム学専攻 教授

玉木 欽也 氏 / 青山学院大学 経営学部 大学院社会情報学研究科 教授

社学連携機構ヒューマン・イノベーション研究センター (HiRC) 所長

2011 年 10 月 6 日 (木) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

入学から卒業・出口後までの学生トータル支援——

エンrollment・マネジメントのコンセプトと展開

～米国・国内の最新動向／退学者半減に向けて～

- ※ EMって、なんだ?／新理論「EM=C²」とは／日本型EM戦略の実現シナリオと経営力
- ※ [京都光華女子大] 大学改革としてのEM／発想の転換と諸施策／推進の難しさ／解決方策
- ※ [山形大] EMコンセプトとEM部の挑戦／学生を“知り抜く”ためのマーケティングの実際

● 講師陣 ●

船戸 高樹 氏 / 桜美林大学 大学院大学アドミニストレーション研究科 教授
私大協附置私学高等教育研究所 研究員

山本嘉一郎 氏 / 京都光華女子大学 副学長・キャリア形成学部教授 キャリアセンター長

福島 真司 氏 / 山形大学 エンrollment・マネジメント部 教授

2011 年 10 月 11 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 192 インストラクショナルデザイン～授業改善の進化策
 2011年10月6日(木) 13:00～16:40
 高等教育活性化シリーズ 193 エンrollment・マネジメントのコンセプトと実際
 2011年10月11日(火) 10:30～16:40

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町) ※両日程、同会場です
 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 192 インストラクショナルデザイン～授業改善の進化策	41,000円 (消費税込)	42,000円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 193 エンrollment・マネジメントのコンセプトと実際	42,000円 (消費税込)	43,000円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

2011年 月 日

■ 高等教育活性化シリーズ 193 エンrollment・マネジメントのコンセプトと実際
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

TEL _____ FAX _____

連絡部課・担当者名 _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
<p>13:00 ～ 15:00</p>	<p>□ インストラクショナルデザインと大学教育 ～効果的・効率的・魅力的な学習環境の構築に向けて～ 熊本大学 鈴木 克明</p> <p>1. IDの視点で大学をデザインする鳥瞰図 (1) 入口と出口をつなぐ成長プロセス (2) eラーニングの質保証レイヤーモデル (3) eラーニングをここから始めよう</p> <p>2. ID (Instructional Design) とは何か? (1) 効果・効率・魅力: IDの3つのゴール (2) 授業改善をどう実現するか</p> <p>3. 学習意欲をデザインする ARCS モデル (1) 注意 (Attention) (2) 関連性 (Relevance) (3) 自信 (Confidence) (4) 満足感 (Satisfaction) (5) 学生に自分のやる気をコントロールする方法を教えること</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
<p>15:10 ～ 16:40</p>	<p>□ インストラクショナルデザインによる教育プログラムの組織実践 ～教育の質保証と授業改善に向けた「評価」とブレンディッドラーニング～ 青山学院大学 玉木 欽也</p> <p>1. eラーニング専門家資格認定プログラムにおけるIDの組織実践 (1) 育成目標とする専門家のスキルセットとカリキュラム体系 (2) プログラム運営を支えるプロジェクト組織体制 (3) IDプロセスに対応した各専門家の協働プロジェクトマネジメント 1) IDer と SME 2) コンテンツスペシャリスト 3) インストラクタとメンタ (4) 教育の質保証と授業改善に向けた「学習活動のトラッキング」と「評価」</p> <p>2. ブレンディッドラーニングの理論と実践 (1) ブレンディッドラーニングの定義とフレームワーク (2) ブレンディッドラーニングの文化的ゴール (3) 学習モデルとブレンディッドラーニングモデル (4) eラーニング専門家資格認定プログラムにおける実践事例</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

時間	講義項目
10:30 ~ 12:30	<p>□ エンロールメント・マネジメントのコンセプトと展開～経営戦略の中心に ～包括的學生支援の要諦／米國大学の最新動向／退學者半減シナリオ～ 桜美林大学 船戸 高樹</p> <p>1. EMって、なんだ？ (1) 米國における高等教育の歴史と現状 (2) EM導入の背景と基本的概念 (3) EM戦略の構築と組織 (4) 新理論「EM=C²」とは</p> <p>2. わが國の高等教育が抱える現状と課題 (1) 縮小するマーケットと「閉鎖大学の出現」 (2) 進行する「二極化」と定員割れ大学の増加 (3) 深刻化する退學者問題 (4) 求められる「常識への疑問」</p> <p>3. EM戦略の具体的な策定と展開 (1) アカデミック・スタンダード構築の重要性 (2) ラーニング・アウトカムの確立とカリキュラム改革 (3) EMの基本は、データの収集と分析 (4) 日本型EMの実現シナリオと経営力 〈質疑応答〉</p>
13:30 ~ 15:00	<p>□ [京都光華女子大] EMによる學生個人の総合的支援への取組 ～その実践を通して見えてきた課題と対策～ 京都光華女子大学 山本嘉一郎</p> <p>1. 京都光華のエンロールメント (1) EMという政策と発案の経緯 (2) 大學改革としてのEM～発想の転換 (3) EMを達成するための諸政策 (4) その成果～現状とその評価</p> <p>2. EM推進の難しさ (1) 発想の転換への障害 (2) 原動力としてのGP (3) 推進に必要な条件 (4) 整えられたものと足りないもの</p> <p>3. EMの課題と解決法 (1) EMの在り方についての課題と対策 (2) 推進体制上の課題と対策 (3) EM運営上の課題と対策 〈質疑応答〉</p>
15:10 ~ 16:40	<p>□ [山形大] 山形大學型EMコンセプトとEM部の挑戦 ～入学前、在学中、卒業後、一貫して學生を知り抜くためのデータ・マーケティング～ 山形大学 福島 真司</p> <p>1. EMとは何か (1) 解釈の誤解：EMは「教育哲学」や「學生支援策」ではない (2) マーケティングとは何か？：定義の変遷と現在 (3) EMの定義：EMは學生を知り抜くための科学的マーケティング手法</p> <p>2. 山形大學EM部の挑戦 (1) 山形大學型EMのコンセプト：私たちの學生を知り抜くこと (2) EM組織の沿革と発展：2006年7月から2013年3月へ (3) EM部のビジネスシステムの展開：業務事例と中心的課題 (4) 総合的學生情報データ分析への挑戦：財務會計的IRではなく管理會計的IRを志向する統合システムの構築</p> <p>3. EMをいかに導入するのか (1) 再び、マーケティングとは何か：マーケティングの潮流とマーケティング3.0 (2) EMの組織作りと必要とされる人材：學生価値とLTV最大化のために (3) まとめ：個々の大學の學生を知り抜くための個々の大學にとってのEM組織の確立 〈質疑応答〉</p>